

令和7年度 在宅医療推進事業報告

唐津市及び玄海町から業務委託を受け実施している在宅医療・介護連携推進事業は、平成30年度から8年を経過した。その成果は、医療・介護の研修会における多職種の参加者から、徐々に意識と関心の拡がりを感じられるようになり、昨年同様に行政機関と連携しながら、地域包括ケアシステム構築の推進に努めた。

《事業項目》

1. 地域の医療・介護の資源の把握

- ① 在宅医療・介護連携支援センターぴあとのホームページの公開・データの追加修正

2. 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- ① 在宅医療・介護協議会 2月25日開催。
- ② 作業部会としてワーキンググループ委員会を設置し、12回開催。

3. 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- ① 訪問看護ステーションの管理者及び行政で構成する訪問看護部会を設置し、6回開催。
- ② 訪問リハビリテーションのセラピスト及び行政で構成する訪問リハビリテーション部会を設置し、6回開催。
- ③ 医療機関の医療ソーシャルワーカー及び行政で構成する医療ソーシャルワーカー部会を設置し、3回開催。その他、身寄りのない方の支援に関する意見交換会を2回開催。
- ④ 唐津東松浦医師会及び行政で構成する訪問診療医部会を新設し、1回開催。

4. 医療・介護関係者の情報共有の支援

- ① 退院支援ルール調整会議を2回開催。居宅ケアマネ・協力病院・有床診療所へアンケート調査と、連携深化に向けたグループワークを実施。
- ② 多職種連携ICT情報共有システム（カナミックサービス）の普及、啓発活動の支援。

5. 在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ① 在宅医療・介護連携支援センターぴあを運営。室長兼コーディネータを1名、コーディネーターを1名配置。

6. 医療・介護関係者の研修

- ① 多職種研修会
 - ・「心不全余命僅か・・・～こんなはずじゃなかった看取り支援」
6月27日開催（参加者110名）
 - ・「施設での看取りを考えてみませんか？」8月29日開催（参加者60名）
 - ・「多職種連携 mini EXPO～『看取り』を通じた連携深化～看取りに関わった症例発表・シンポジウム」12月21日開催（参加者101名）
 - ・「知っておきたい退院後とその後」2月26日開催（参加者53名）
- ② 「ケアマネジャー試験対策講座」7～10月 計7回開催
受験者33名（うち合格者9名）合格率27.3%（参考：県合格率21.2%）

7. 地域住民への普及啓発

- ① 住民公開講座
 - 第1部講演「このまちで暮らすということ」
講師：阿部 智介 氏（医療法人慈孝会七山診療所 所長）
 - 第2部シンポジウム「知ってほしい！このまちであなたらしい暮らしを支えるチカラ」
8月2日開催 参加者174名
- ② 住民公開講座「人生の最期まで自分らしく生きる」
講師：加藤 忠相 氏（株式会社あおいけあ 代表取締役）
12月21日開催 参加者224名

8. 在宅医療・介護連携に関する関係市町の連携

- ① 佐賀県在宅医療・介護連携サポート体制強化事業
- ② 在宅医療・介護連携支援センター運営委員会 3月27日開催